

## 「ロータリーの歴史から学ぶ I」

第2608回例会 2025-26年度第3回

2025-26年度RI会長メッセージ

よいことの  
ために  
手を取りあおう

Rotary 

よいことの  
ために  
手を取りあおう

Rotary 

よいことの  
ために  
手を取りあおう

Rotaract 

# Review

「ロータリークラブ会長は」

**フランチェスコ・アレツツォRI会長**

「ロータリーとは何か」

**よりよい地域づくりをめざす** 「世界を変える行動人」の集まり

「浪江ロータリークラブの目標は」

**泉田ガバナーの支援体制の確立と役割の遂行**

「地区大会の目的は」

**ロータリーの最新情報や地区内の活動状況についての学びの場**

**第2530地区60クラブのロータリアンとの交流の場**

「日本はロータリー世界史の中で“例外的なスピード”で発展」

日本の第1号クラブ（東京ロータリークラブ）は1920年設立。

当時の日本はロータリーが拡大するには“難しい文化圏”と考えられていたが、わずか数年で全国に拡大し、アジアの拠点に。

※現在、日本のクラブ数は世界トップクラス（約2,200クラブ以上）。

## 国際ロータリー第2530地区ガバナー



### プロフィール

- 氏名 泉田 征慶（いずみだ ゆきたか）
- 生年月日 1966年12月23日
- 所属クラブ 浪江ロータリークラブ
- 職業分類 土木建設業
- 事業所名 株式会社 泉田組  
〒979-1521  
双葉郡浪江町大字権現堂字上蔵役目17-1

地区大会のご案内

Rotary DISTRICT 2530 2025-26年度 国際ロータリー第2530地区

よいことのために 手を取りあおう

# 地区大会

## UNITE FOR GOOD

2025年  
**10月25日**±  
(ホテル丸屋グランデ)

**1日目**  
地区リーダー  
研修セミナー  
あけ やま ゆ み  
**明山 友美 氏**

ヒューマンネットワークサービス株式会社 代表取締役社長  
1997年 全日本空輸株式会社入社。国際顧客室室長として東郷、チーフパーサー、外国人新人教育コーディネーター等を兼任。  
2006年 全日本空輸株式会社を退職。  
日本航空株式会社入社。国際顧客室室長として東郷。  
2007年 ヒューマンネットワークサービス株式会社を設立。  
ロータリー歴  
2013-14年度 富田中央ロータリークラブに入会  
2017-22年度 地区55区イメージ委員会 副委員長  
「世界的にはアート・イン・ジャパン」プロジェクト実行委員長  
2022-24年度 地区55区委員会 副委員長  
2023-24年度 富田中央ロータリークラブ 会長  
2025-26年度 RI027500地区 地区理事  
2017-18年度と2019-20年度に、イオロにおける防災・防災活動に参加。  
2021-22年度と2023-24年度に、パキスタンにおける防災・防災活動に参加。  
2023-24年度には、ロータリー-研究委員会ミッションにてパキスタンの防災・防災活動に参加。  
2024-25年度 パキスタンにおける防災・防災活動に参加。  
2024-25年度 International Service Award for a Polio-Free World 受賞

2025年  
**10月26日**日  
(浪江町地域スポーツセンター)

**2日目**  
地区大会  
記念講演  
くは けん ぎ  
**隈 研吾 氏**

1954年生まれ。  
1990年、隈研吾建築都市設計事務所設立。  
慶應義塾大学教授、東京大学教授を経て、  
現在、東京大学特別教授・名誉教授、日本芸術院会員。  
50を超える国々でプロジェクトが進行中。  
主な著書に  
「隈研吾 オノマトペ 建築 接感性」(エクスナレッジ)  
「日本の建築」(岩波書店)、「全仕事」(大和出版)  
「点・線・面」(岩波書店)、「負ける建築」(岩波書店)  
「匠の建築」(岩波書店)、「小さな建築」(岩波書店)、他多数。

地区大会記念  
**ポリオチャリティー親善ゴルフ大会**  
2025年10月4日(土)  
於:五浦庭園カントリークラブ

ポリオチャリティー親善ゴルフ大会  
申込締切:2025年8月22日(金) 必着(最大30組120名まで先着順)  
★地区大会専用 e-mailアドレス: [24-25tikutaikai@ri2530.com](mailto:24-25tikutaikai@ri2530.com)

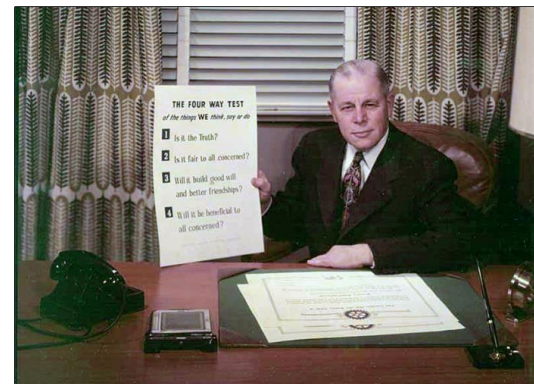
# ロータリーの歴史 1905年～現在



創設期  
1905-1911



世界への拡大  
1912-1930



リーダーの育成  
1931-1957



グローバルな奉仕  
1958-1984



壮大な目標  
1985-2004



インパクトの重視  
2005～現在



1905年、初のクラブ例会とともに始まった  
ロータリーの創設期には、友情と奉仕に基づく  
地域社会のつながりを築くことに  
焦点を当てていました。



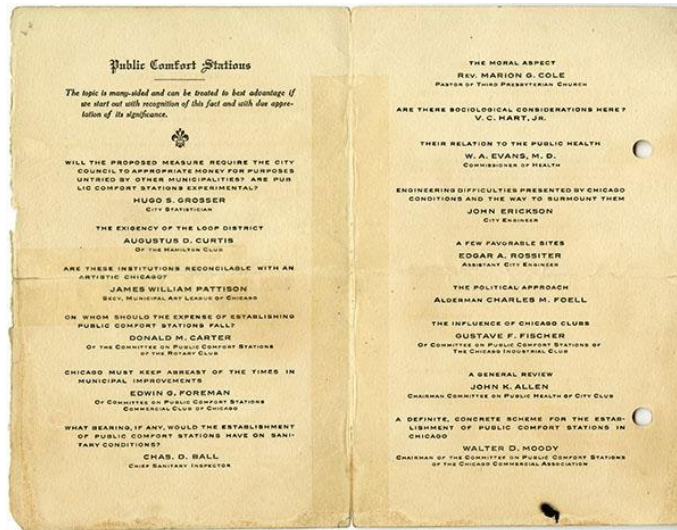
最初の4人のロータリアン

◆ガスターバス・ローア ◆シルベスター・シール  
◆ハイラム・ショーレー ◆ポールP. ハリス。

1905年：ロータリー創設

弁護士だったポール P. ハリスは、2月23日に米国イリノイ州シカゴで初のロータリー例会を開きました。ハリスは、地元の多種多様な職業人を集めたクラブを思い描きました。

財団への寄付(US\$1,000以上)に達した方  
ポール・ハリス・フェロー (Paul Harris  
Fellow)

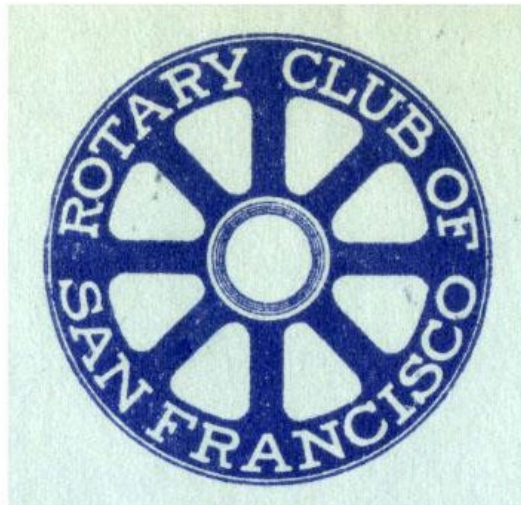


公衆トイレ設置についての協議が行われた会合の議題資料（1907年10月）。

## 1907年：初期の奉仕プロジェクト

シカゴ・ロータリークラブは、街の衛生改善のために公衆トイレ設置のニーズについて市民団体と協議しました。

（1905年の設立から2年後に初の奉仕活動会開始）



サンフランシスコ・ロータリークラブの初期の徽章（1911年頃）。

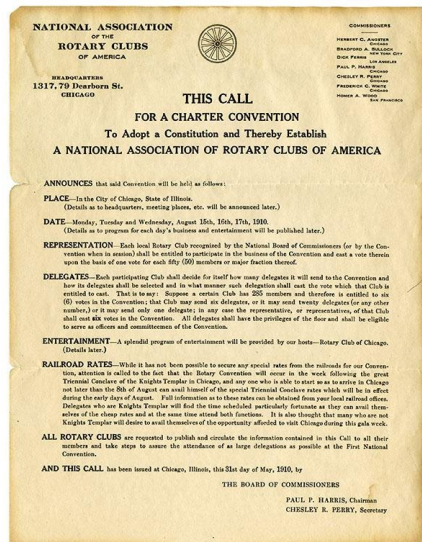
## 1908年：ロータリー第二の都市

11月、サンフランシスコ（米国カリフォルニア州）に二つ目のロータリークラブが設立され、ロータリー第二の都市となりました。

ポール・ハリスは人的ネットワークによる持続的な拡張戦略を用いた先駆者

（1905年の設立から3年後に2つ目のクラブが設立された）

創設期  
1905-1911

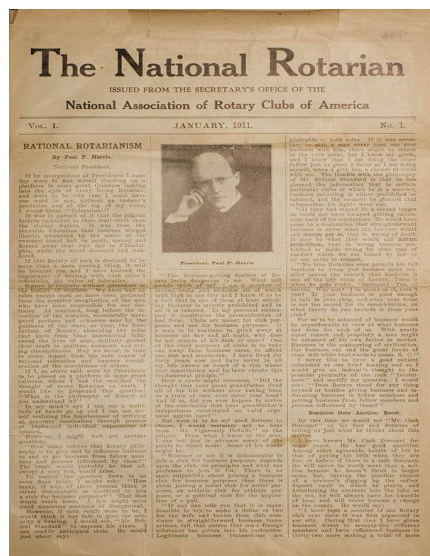


ロータリークラブ連合会を設立するための大会開催の通知（1910年5月）。

## 1910年：クラブ連合会の設立

1910年にシカゴで開催された第1回ロータリー大会に16のロータリークラブの代表者が集まり、全米ロータリークラブ連合会を設立。

（1905年の設立から5年後に16クラブに増え連合会が設立された）



## 1911年：『The Rotarian』誌

すべてのクラブに同じメッセージを届け、クラブと会員からのニュースを伝えることを目的に、1911年1月に『The Rotarian』創刊号が発行されました。

誌名は2020年『Rotary』に変更されました。

（1905年の設立から6年後に会報誌が発行される）

『The Rotarian』誌は創刊時には『The National Rotarian』と呼ばれていました。創刊号には、ポール・ハリスが書いたエッセイとクラブのニュースが掲載されました。

# conclusion

「ロータリークラブ創設者」

**ポール・パーシー・ハリス**と3人の仲間たち

「財団への寄付（US\$1,000以上）に達した方」

**ポール・ハリス・フェロー** Paul Harris Fellow)

「日本にロータリーを紹介したのは「朝日新聞の特派員」



1920年、日本で最初のクラブ設立を提案したのは

**米国駐在の朝日新聞特派員・米山梅吉。**

彼はシカゴのロータリーに触れて感動し、「これを日本にも」と帰国後に熱心に普及。  
彼は【日本ロータリーの父】と称されます。

三井信託の創設者としても活躍した実業家